

令和4年度定時総会資料

令和4年6月13日

東三河懇話会

令和4年6月13日（月）
於：ホテルアークリッシュ豊橋

東三河懇話会 令和4年度定時総会次第

- 15:00～15:45 **定時総会** 5階「ザ・グレイス」
議案1. 令和3年度事業報告並びに収支決算報告の件
議案2. 令和4年度事業計画（案）並びに収支予算（案）の件
議案3. 役員改選の件
- 15:50～17:00 **記念講演** 5階「ザ・グレイス」
講師：元国土交通大臣 太田昭宏氏
演題：「激変する世界情勢と日本の立ち位置 ～東三河の課題～」
- 17:10～18:00 **交流懇親パーティー** 4階「ザ・テラスルーム」

※定時総会、記念講演会は通常開催に加えて、オンライン配信を実施

議 案 1. 令和3年度事業報告並びに収支決算報告の件

令和3年度事業報告

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月31日

令和3年度は、新型コロナウイルスの影響が長期化するなか、相次ぐ緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の発令等により、国内の経済活動は停滞を余儀なくされましたが、9月末の解除以降、国内では2回目のワクチン接種が進み、ウィズコロナを念頭に経済の正常化を目指す動きが本格化しました。しかしながら、半導体不足や原材料価格の高騰などの問題が顕在化し、年明け以降は第6波の感染拡大やロシアによるウクライナ侵攻などの懸念材料も加わり、経済回復に向けた道筋が見通せない1年となりました。

このような状況のなか、産学官民交流事業における「東三河産学官交流サロン」、「東三河午さん交流会」は、ウィズコロナを前提に感染防止対策を十分講じた上で、会場内での飲食を中止し、オンラインを併用するなどの対応をとりながら、会員の皆さまの交流機会の創出に努めました。また、会員企業・団体の若手・女性社員を対象とした「東三河グローアップミーティング」を4回開催して軌道に乗せる一方、産学官の若手メンバーによる東三河地域で顕在化している課題等をテーマとして議論し、地域への提言につなげる「産学官の新しいネットワークづくりのためのワーキング」では、議論を重ね『農業の担い手および労働力問題』を検討テーマに設定し、課題解決に向けた対応策を検討して報告書として取りまとめ、ホームページに掲載しました。

広域連携事業では、東三河地域のインフラ整備事業に関する情報提供・勉強の場として、「東三河地区幹線道路整備計画に関する説明会」、「三河港関連事業計画等説明会」を開催しました。また、6月の定時総会記念講演会において、前愛知県副知事の森岡仙太氏に『今、何をすべきか』と題し、ビジネスにおける根本的な環境変化として、少子高齢化、地球温暖化、イノベーションの競争激化についてご講演いただきました。その他、三河港の各種課題や将来のあるべき姿について専門家と会員の皆さまが意見交換を行う「三河港未来戦略会議」における研究交流会の開催、フォーラムの開催やモニタリング調査など東三河地域の生物多様性の保全に対する意識啓発と取り組みの活性化を図る「東三河生態系ネットワーク協議会」の事務局業務を担いました。

一方、年明けには、新春恒例の「東三河8市町村長を囲む新春懇談会」を開催し、『社会変革(DXとGX等)に対応した地域の普遍的な価値づくり』をテーマに、パネルディスカッションを行うとともに、中部経済同友会と浜松経済同友会と合同で企画した「三遠南信地区地域懇談会」の開催や「豊橋市スマートシティフォーラム」を豊橋市と共催するなど、地域経済団体や行政との連携強化に努めました。

会員サービス事業では、ウェブサイト「会員専用ページ」を設け、会員関連情報などの特定情報を紙ベースからデータにて閲覧できる体制に変更いたしました。また、会員の皆さまからの有用な情報をタイムリーに弊会のホームページに無償で掲載するサービスもスタートさせ

ました。

ウクライナ情勢や新型コロナウイルスの感染拡大などが懸念され先が見通せない状況ではありますが、新年度も会員の皆さまのニーズを的確に受け止め、DXやGXを背景とした新しい時代に即した地域づくりを推進していくため、産学官民連携強化と交流促進に一層力を注いでまいります。会員の皆さまにおかれましては、今後も積極的なご参加をお願い申し上げます。

(1) 産学官民交流事業

①東三河産学官交流サロン

コロナ禍が続いていたが、状況に応じて食事の提供を中止するなどの対応を行い、オンラインを併用して12回開催した。産学官民の交流連携、情報交換の場を提供するため、時流に沿ったテーマを設定の上、東三河の産学官民の講師を招聘し、会員に向けてタイムリーな情報を発信した。

(第438回～449回 詳細後記)

②東三河午さん交流会

こちらもコロナ禍の状況に応じて、食事を持帰り弁当に変更するなどの対応を行い、予定通り10回開催した。東三河において社会活動や文化芸術活動を実践し、地域づくりに貢献されている方々を紹介し、会員への情報発信を行った。

(第211回～220回 詳細後記)

③視察会

コロナ禍により、開催しなかった。

(2) 広域連携事業

①東三河8市町村長を囲む新春懇談会

新春恒例の事業として、東三河地域における共通の課題・テーマに関する東三河8市町村長参加のパネルディスカッションを実施し「社会変革(DXとGX等)に対応した地域の普遍的な価値づくり」をメインテーマとして、東三河のこれからの姿の展望について活発な議論が行われた。なお、地元ケーブルテレビ局による生中継、ならびにYouTubeを活用したオンライン配信を実施した。

(詳細後記、会報誌MIKAWA-NAVI特別号に掲載)

②三河港未来戦略会議(旧 国際自動車コンプレックス研究会)

三河港を中心に未来に向けた地域づくりの戦略を検討することを目的として、会の名称を「三河港未来戦略会議」に変更し、自動車リサイクル、物流におけるカーボンニュートラル、輸入車市場の展望について、研究交流会を3回開催した。

(詳細後記)

③東三河生態系ネットワーク協議会

東三河生態系ネットワーク協議会の事務局として、SDGs(持続可能な開発目標)の目標である「14.海の豊かさを守ろう」「15.陸の豊かさを守ろう」を中心に活動を展開した。今年度は、愛知県から「生物多様性モニタリング調査業務」を受託し、豊橋公園・朝倉

川などの調査地点で9回、12テーマにわたる動植物のモニタリング調査を実施した。また交付金対象事業として月例役員会のほか、7月に「参加団体活動見学会」、リーフレット活用による「協議会への参加呼び掛け」の取り組み、11月に豊橋市で「東三河生態系ネットワークフォーラム2021」を開催するなど、生態系保全の重要性について理解を深めていただく活動を行った。

④地域インフラ事業の説明会

令和3年6月に「三河港関連事業計画等説明会」を、また7月には「東三河地区幹線道路整備計画に関する説明会」を三河港振興会と共催した。

(詳細後記)

⑤各種団体との連携・協力

中部経済同友会、浜松経済同友会、三河港振興会、豊橋市企画部等との連携・協力により、会員交流や産学官民連携に向けた講演会などの取り組みを実施した。

(詳細後記)

(3) 会員サービス事業

①広報活動の一層の推進

会員サービス事業では、ウェブサイト「会員専用ページ」を設け、会員関連情報などの特定情報を紙ベースからデータにて閲覧できる体制に変更した。また、会員の皆さまからの有用な情報をタイムリーに弊会のホームページに無償で掲載するサービスもスタートした。

②会員サービスの質的向上

(公社)東三河地域研究センターとの情報共有と連携強化を図り、同センターが保有するシンクタンク機能を活用し、会員にとって有益な産学官民交流および広域連携事業の充実を進めた。

③「東三河地域問題セミナー」の支援

(公社)東三河地域研究センター主催で3回開催した。また、地元大学生による東三河地域関連研究発表会を3月に開催した。

(詳細後記)

(4) 新しいネットワークづくりへの取り組み

会員相互の新しいネットワーク形成や地域づくりを考えることからの学びと自己成長を目的とした「東三河グローアップミーティング」を4回開催した。また、産学官の若手メンバーが集い、地域で顕在化している課題等をテーマに討論する「産学官による新しいネットワークづくりのためのワーキング」を7回開催。『農業の担い手および労働力問題』をテーマに設定して検討を重ね、報告書として取りまとめ、ホームページに掲載した。

(詳細後記)

(5) 会員増強

○新入会

[法人会員] 3口

- ・(株)戸田工務店
- ・(株)安田商店
- ・三河湾ネットワーク(株)

[個人会員] 1口

- ・山田和男 (敬称略)

運営の部

1. 定時総会

令和3年6月7日(月) 15:00~17:00

於: ホテルアークリッシュ豊橋 5階 ザ・グレイス

・議事

議案1. 令和2年度事業報告並びに収支決算報告の件

議案2. 令和3年度事業計画(案)並びに収支予算(案)の件

議案3. 細則一部改定の件

議案4. 役員変更の件

・記念講演 講師: 前愛知県副知事 森岡仙太氏

演題: 「今、何をすべきか」

参加者: 125名(オンライン35名含む)

※交流懇親パーティーは開催中止

2. 理事会

令和3年5月17日(月) 11:00~11:40

於: ホテルアークリッシュ豊橋 5階 ザ・グレイス

※オンライン配信も実施

3. 会員数及び口数の状況

(1) 入会	法人会員	3社	(3口)	
	個人会員	1名	(1口)	
退会	法人会員	3社	(3口)	
	個人会員	1名	(1口)	
減口	特別会員		(1口)	※豊橋市副市長分(下期)

(2) 令和4年3月31日現在会員数

法人会員	154社	(185口)
個人会員	2名	(2口)
特別会員	12団体	(29口)
推薦会員	2名	—

資料（事業の詳細）

1. 三河港未来戦略会議（旧 国際自動車コンプレックス研究会） 活動状況

（1）第60回研究交流会（R3.7.16 於：豊橋商工会議所 4階406会議室）

講師：（一社）日本自動車リサイクル機構 代表理事 酒井康雄氏

演題：「自動車リサイクルの実態と制度の課題」

参加者：30名

（2）第61回研究交流会（R3.11.29 於：豊橋商工会議所 4階401会議室）

講師：日本通運(株) 豊橋支店 支店長 守田英司氏

日本通運(株) 金沢支店 高柳物流事業所 主任 柳瀬友治氏

演題：「物流における脱炭素への取組み」

参加者：36名

（3）第62回研究交流会（R4.2.16 於：豊橋商工会議所 5階508会議室）

講師：日本自動車輸入組合 副理事長兼専務理事 入野泰一氏

演題：「J A I A活動と今後の輸入車市場の展望」

参加者：34名

2. 講演会、懇談会等

（1）令和3年度 三河港関連事業計画等説明会 [三河港振興会と共催]

(R3.6.24 13:30～15:00 於：ライフポートとよはし コンサートホール)

講師：国土交通省中部地方整備局三河港湾事務所 所長 鳴原 茂氏

愛知県 三河港務所 所長 渡邊恒博氏

愛知県 用地造成事務所 所長 河合秀樹氏

参加者：108名（オンライン30名含む）

（2）令和3年度 東三河地区幹線道路整備計画に関する説明会 [三河港振興会と共催]

(R3.7.7 13:30～15:30 於：ライフポートとよはし コンサートホール)

講師：国土交通省 中部地方整備局 名四国道事務所 所長 桑 昌司氏

国土交通省 中部地方整備局 浜松河川国道事務所 副所長 高見泰彦氏

国土交通省 中部地方整備局 設楽ダム工事事務所 所長 真鍋将一氏

愛知県 東三河建設事務所 所長 白村 暁氏

愛知県 新城設楽建設事務所 所長 原 勝氏

参加者：190名（オンライン35名含む）

（3）(公社)東三河地域研究センター 総会記念講演会

・通常総会 (R3.11.24 15:00～ 於：ホテルアークリッシュ豊橋 5階ザ・グレイス)

講師：(株)日建建設総合研究所 主席研究員 安藤 章氏

演題：「モビリティ革命、地方創生への期待」

参加者：88名（オンライン15名含む）

(4) 豊橋市スマートシティフォーラム [豊橋市と共催]

(R4. 2. 2 14:00～16:00 ※オンライン配信のみ)

第1部：講演

講師：アクセンチュア・イノベーションセンター福島

センター共同統括 マネジング・ディレクター 中村彰二郎氏

演題：「スマートシティとは何か ～市民参加型のスマートシティ～」

第2部：パネルディスカッション

ファシリテーター：豊橋技術科学大学 情報・知能工学系 准教授 大村 廉氏

パネリスト：豊橋技術科学大学 機械工学系 教授 高山弘太郎氏

パネリスト：豊橋創造大学 経営学部 教授 見目喜重氏

パネリスト：豊橋創造大学 経営学部 教授 鈴木宏幸氏

コメンテーター：国土交通省 都市局 都市計画課 都市計画調査 専門調査官 井川敬大氏

参加者：100名

(5) 三遠南信地区地域懇談会 [中部経済同友会、浜松経済同友会と共催]

(R3. 3. 7 16:00～17:30 於：ホテルアークリッシュ豊橋 5階ザ・グレイス)

講師：浜松市長 鈴木康友氏

演題：「持続可能な自治体経営と三遠南信地域の官民連携」

参加者：39名

※懇親会は、コロナ禍により中止

3. 東三河産学官交流サロン (公社)東三河地域研究センターと共催

(年12回、18:00～20:30 於：ホテルアークリッシュ豊橋 5階ザ・グレイス)

第438回 R3. 4. 13 参加者88名 (オンライン10名含む)

・豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系 准教授 松尾幸二郎氏

「地域に根ざした交通マネジメントの研究」

・湖西市市長 影山剛士氏

「持続可能な発展のための『三遠南信・東三河地域と湖西市の広域連携』」

第439回 R3. 5. 25 参加者95名 (オンライン25名含む) ※会食中止

・愛知大学 国際コミュニケーション学部 教授 小崎 隆氏

「つち・とち・いのち ～環境と経済の『ちよっとイイ関係』を目指して～」

・豊橋市長 浅井由崇氏

「豊橋新時代に向けて」

第440回 R3. 6. 15 参加者81名 (オンライン21名含む) ※会食中止

・豊橋技術科学大学大学院 工学研究科 機械工学系 教授 中村祐二氏

「脱炭素へ向けた『工学的“コロンブスの卵”』とは何か」

・レンテック大敬(株) 代表取締役専務 嵩 伸介氏

「街や人々を支える建設業者様のパートナーを目指して ～私はこうして、後継者失格となった～」

- 第 441 回 R3.7.20 参加者 79 名（オンライン 9 名含む）※会食中止
- ・愛知大学短期大学部 ライフデザイン総合学科 教授 須川妙子氏
「日本の菓子文化における三河人の活躍」
 - ・シャボン玉石けん(株) 取締役 営業本部本部長 松永康志氏
「中小企業のSDGsの実践事例と課題 ～企業理念の重要性～」
- 第 442 回 R3.8.17 参加者 62 名（オンライン 14 名含む）※会食中止
- ・豊橋技術科学大学 機械工学系 教授 飯田明由氏
「会話がCOVID-19感染リスクに及ぼす影響」
 - ・(株)JTB ツーリズム事業本部 名古屋事業部 観光開発シニアプロデューサー 平野直行氏
「JTBが進める『食農観光による地域活性化』」
- 第 443 回 R3.9.21 参加者 67 名（オンライン 18 名含む）※会食中止
- ・愛知工科大学 学長 大西正敏氏
「AUT教育におけるIoTとDX化の取組み」
 - ・(一社)中部経済連合会 審議役・調査部長 笹野 尚氏
「豊橋地域の地域発展戦略の選択肢について ～SWOT分析の手法を用いた試論～」
- 第 444 回 R3.10.19 参加者 86 名（オンライン 10 名含む）※会食中止
- ・豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系 准教授 杉木 直氏
「静岡県湖西市における企業シャトルBaaS事業実証実験について」
 - ・豊橋信用金庫 理事長 山口 進氏
「創立100周年を迎えた豊橋信用金庫の取組み」
- 第 445 回 R3.11.15 参加者 94 名（オンライン 15 名含む）
- ・愛知大学 文学部人文社会学科 教授 加藤 潤氏
「現代社会の激変と地方中小企業における『学び直し』の役割」
 - ・中部ガス不動産(株) 専務取締役 赤間真吾氏
「変化する“まちなか”とemCAMPUS」
- 第 446 回 R3.12.22 参加者 80 名（オンライン 6 名含む）
- ・豊橋技術科学大学大学院 機械工学系 教授 内山直樹氏
「システム工学の産業応用」
 - ・ブルーイノベーション(株) ソリューション営業部 山口雄大氏
「社会インフラを支えるドローンの活躍と未来への可能性」
- 第 447 回 R4.1.18 参加者 78 名（オンライン 12 名含む）※会食中止
- ・豊橋創造大学 保健医療学部看護学科 学科長・教授 蒔田寛子氏
「訪問看護師の在宅療養支援 ～生活と医療の統合～」
 - ・愛知県東三河総局 総局長 矢野浩二氏
「東三河振興ビジョン2030について」

第 448 回 R4. 2. 22 参加者 63 名 (オンライン 17 名含む) ※会食中止

- ・ (株)豊橋バイオマスソリューションズ 代表取締役社長
(豊橋技術科学大学 客員准教授) 熱田洋一氏
「バイオマス利活用事業をもっと身近にもっと確実に ～(株)豊橋バイオマスソリューションズが考える脱炭素・地域資源循環型社会～」
- ・ (株)ジュトク 代表取締役社長 上村哲司氏
「倒産事例から学ぶ景気後退期 2 年目の戦略」

第 449 回 R4. 3. 15 参加者 73 名 (オンライン 18 名含む) ※会食中止

- ・ 愛知大学 法学部 准教授 木村義和氏
「今、なぜ、フランチャイズ取引適正化法が必要なのか」
- ・ 国土交通省 中部地方整備局 設楽ダム工事事務所 事務所長 真鍋将一氏
「設楽ダム建設におけるデジタル・トランスフォーメーション (DX) の取組」

4. 東三河午さん交流会 (公社)東三河地域研究センターと共催

(年 10 回、5、1 月を除く毎月第 1 金曜日を原則 11:30～13:00

於：ホテルアークリッシュ豊橋 4 階ザ・テラスルーム)

第 211 回 R3. 4. 2 参加者 41 名

- ・ (株)戸田工務店 取締役マネージャー/(一社)愛知県古民家再生協会 理事 戸田幸志氏
「空き家を負動産から富動産へ ～古民家と創る地域の未来～」

第 212 回 R3. 6. 4 参加者 40 名 11:00～12:00 (持帰り弁当)

- ・ (株)安田商店 代表取締役社長 安田弦矢氏
「農畜産業の超高齢化が進む産地『田原』を守るため」

第 213 回 R3. 7. 2 参加者 38 名

- ・ 東栄町観光まちづくり協会 伊藤拓真氏
「まちをつくるこれからの観光」

第 214 回 R3. 8. 6 参加者 32 名 11:30～12:30 (持帰り弁当)

- ・ 蒲郡市 産業振興部観光商工課 シティセールス推進室 来本晃彩氏
「映画『ゾッキ』を通じた蒲郡のシティセールスについて」

第 215 回 R3. 9. 3 参加者 27 名 11:30～12:30 (持帰り弁当)

- ・ SATOYAMA 搾油所 永田雅信氏
「椿油から考える小さな自給と大きな安心」

第 216 回 R3. 10. 1 参加者 39 名 11:30～12:30 (持帰り弁当)

- ・ (株)ランド 代表取締役社長/奥三河蒸留所 阿部 晃氏
「奥三河蒸留所は、新しい産業で稼げるか ～成功の光と影～」

第217回 R3.11.5 参加者 33名

- ・(一社)豊川青年会議所 副理事長 谷口慶一氏
「『ヨルモウデ』豊川稲荷580年の歴史初の試みで地方活性化」

第218回 R3.12.3 参加者 50名

- ・蒲郡商工会議所 会頭 小池高弘氏
「海が語る、まちが語りかける ～蒲郡ベンチアートプロジェクト～」

第219回 R4.2.4 参加者 26名 11:30～12:30 (持帰り弁当)

- ・舞台映像作家/(株)青空 代表取締役 山田晋平氏
「どうしてわたしは豊橋に住んでいるのか」

第220回 R4.3.4 参加者 36名 11:30～12:30 (持帰り弁当)

- ・視覚障がい者団体さくらんぼ 代表 柳田知可氏
「心の鏡で見えてきたこと ～自分らしさを見つけて～」

5. 令和4年 東三河8市町村長を囲む新春懇談会

(R4.1.7 14:30～17:00 於: ホテルアークリッシュ豊橋 5階ザ・グレイス)

テーマ: 「社会変革(DXとGX等)に対応した地域の普遍的な価値づくり」

内容: 東三河8市町村長によるパネルディスカッション

【パネリスト】

豊橋市長	浅井由崇氏
豊川市長	竹本幸夫氏
蒲郡市長	鈴木寿明氏
新城市長	下江洋行氏
田原市長	山下政良氏
設楽町長	土屋 浩氏
東栄町長	村上孝治氏
豊根村長	伊藤 実氏

【コーディネーター】

豊橋技術科学大学 前学長/東京大学 名誉教授 大西 隆氏

参加者: 169名 (YouTube 同時刻内視聴回数 215回)

※17:00～ 賀詞交歓会 (111名参加)

6. 東三河地域問題セミナー (主催: (公社) 東三河地域研究センター)

(1) 第1回公開講座(R3.7.5 於: 豊橋商工会議所 4階 406会議室)

講師: 名古屋大学 減災連携研究センター副センター長

ライフライン地盤防災産学協同研究部門 特任教授 田代 喬氏

講演: 「近年の水害からの教訓に学び、備えるために」

参加者: 39名

- (2) 第2回公開講座(R3.8.19 於：豊橋商工会議所 4階 406会議室)
講 師：豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系 講師 小野 悠氏
演 題：「まちづくりの潮流等から東三河のまちづくりを考える ～松山アーバンデザインセンターを事例に～」
参加者：24名

- (3) 第3回公開講座(R3.9.9 於：豊橋商工会議所 4階 406会議室)
講 師：名古屋市立大学 人文社会学部 准教授 三浦哲司氏
演 題：「地域づくりの新展開と三河山間地域のこれから」
参加者：36名

7. 東三河地域関連研究発表会 (主催：(公社)東三河地域研究センター)

- (1) 第28回東三河地域関連研究発表会 (R4.3.11 emCAMPUS STUDIO #ROOM1)
参加者：47名 (オンライン20名含む)

8. 東三河グローアップミーティング

- (1) 第2回(R3.4.21 於：ホテルアークリッシュ豊橋 5階ザ・グレイス)
講 師：愛知大学 地域政策学部教授/三遠南信地域連携研究センター長 戸田敏行氏
演 題：「東三河地域の広域連携を考える」
参加者：44名 (オンライン9名含む)
- (2) 第3回(R3.7.15 於：ホテルアークリッシュ豊橋 5階ザ・グレイス)
講 師：(株)PR TIMES 代表取締役社長 山口拓己氏
演 題：「武器としてのPR思考と経営」
参加者：43名 (オンライン12名含む)
- (3) 第4回(R3.10.14 於：ホテルアークリッシュ豊橋 5階ザ・グレイス)
講 師：豊橋市 文化・スポーツ部「まちなか図書館」館長 種田 滯氏
演 題：「地方移住とこれからの働き方」
参加者：39名 (オンライン10名含む)
- (4) 第5回(R4.1.25 於：ホテルアークリッシュ豊橋 5階ザ・グレイス)
講 師：(株)新東通信/(一社)中部SDGs推進センター 細戸 健氏
演 題：「SDGsの基本理解と企業活動への実装」
参加者：32名 (オンライン10名含む)

9. 産学官による新しいネットワークづくりのためのワーキング

【メンバー】

イノチオホールディングス(株) 経営企画部経営企画課 山北悠杏氏
豊橋信用金庫 総合企画部 坂田祐人氏
武蔵精密工業(株) ムサシイノベーションラボクルー 鈴木隆文氏

(株)アグリトリオ 吉川裕介氏、深谷祐貴氏
愛知県東三河総局 企画調整部企画調整課 島田和宏氏
豊橋市 企画部政策企画課 夏目幹大氏
東三河懇話会 福田裕之、奥田 健、山田典由
(公社)東三河地域研究センター 高橋大輔、佐藤克彦

- (1) 第5回 (R3.4.26 於：ムサシ イノベーションラボ クルー)
討論テーマ：「イノチオホールディングス事業概要」 (発表者：山北悠杏氏)
- (2) 第6回 (R3.6.10 於：ムサシ イノベーションラボ クルー)
講 師：中部ガス不動産 (株) 田島啓行氏
演 題：「emCAMPUS事業について」
- (3) 第7回 (R3.7.26 於：ムサシ イノベーションラボ クルー)
講 師：愛知大学 地域政策学部 食農環境コース 教授 藤井吉隆氏
講演テーマ：「農業を巡る動向 ～担い手・労働力確保および園芸振興の取り組み～」
- (4) 第8回 (R3.8.30 於：ムサシ イノベーションラボ クルー)
講 師：愛知大学 地域政策学部 食農環境コース 教授 藤井吉隆氏
講演テーマ：「農業における熟練ノウハウの特徴と伝承」
【討論の結果と今後のテーマ】
『農業の担い手および労働力問題』をテーマとし、農業に関する労働力確保や技能継承など、藤井教授に協力いただき、令和3年度下半期を目標として提言 (レポート) の取りまとめを目指すこととし、3班に分かれてレポート作成を開始した。
- (5) 第9回 (R3.12.6 於：ムサシ イノベーションラボ クルー)
各班からの討論の経緯、レポート内容の説明報告を実施
【テーマ1】農業パート労働力の確保
【テーマ2】農業新規・継承経営者の確保、育成
【テーマ3】農業技能の伝承、共有化、見える化
意見交換し、内容のブラッシュアップを図った。
- (6) 第10回 (R4.1.17 於：emCAMPUS STUDIO #ROOM1)
藤井教授から、提言にまとめる場合の枠組みと順序だて説明。
前回議論を受けて各班がレポートにおける修正や追記した内容を報告。
意見交換を実施。
- (7) 第11回 (R4.3.16 於：emCAMPUS STUDIO #ROOM1)
藤井教授から、取りまとめ提言の1次案内容説明。
意見交換を実施。

10. 各種団体、調査委員会等への参加、協力

- (1) (一社)中部経済連合会
- (2) (公財)中部圏社会経済研究所
- (3) (一財)東海産業技術振興財団
- (4) (一社)奥三河ビジョンフォーラム
- (5) 愛知県港湾協会
- (6) 三河港振興会
- (7) 豊かな海“三河湾”環境再生推進協議会
- (8) 伊勢湾再生海域検討会
- (9) 東三河生態系ネットワーク協議会
- (10) (NPO)穂の国森づくりの会
- (11) (NPO)朝倉川育水フォーラム
- (12) 東三河流域フォーラム
- (13) 一般国道151号改良促進期成同盟会
- (14) 豊橋みなとフェスティバル実行委員会
- (15) (一社)豊橋観光コンベンション協会
- (16) (公財)豊橋市国際交流協会
- (17) (公財)豊橋文化振興財団
- (18) 豊橋日独協会
- (19) とよはし市電を愛する会
- (20) 豊橋市民愛市憲章推進協議会
- (21) 530運動環境協議会
- (22) 愛知県地球温暖化防止活動推進センター

収支決算報告

令和3年度
収支決算書
(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

<u>収入決算額</u>	<u>32,104,051円</u>
<u>支出決算額</u>	<u>30,011,526円</u>
<u>差引残高</u>	<u>2,092,525円</u>

《 収入の部 》

(単位：円)

科 目	予算額(1)	決算額(2)	差異(2)-(1)	予算比	備 考
1. 会費収入	24,720,000	24,651,000	△ 69,000	99.7%	
1) 法人会費	22,260,000	22,200,000	△ 60,000	99.7%	
2) 個人会費	120,000	150,000	30,000	125.0%	
3) 特別会費	2,340,000	2,301,000	△ 39,000	98.3%	
2. 事業収入	6,118,000	3,423,023	△ 2,694,977	56.0%	
1) 産学官交流サロン	3,520,000	1,830,869	△ 1,689,131	52.0%	
2) 午さん交流会	1,108,000	1,042,154	△ 65,846	94.1%	
3) 新春懇談会	750,000	253,000	△ 497,000	33.7%	
4) その他の事業	740,000	297,000	△ 443,000	40.1%	
3. その他の収入	2,480,500	2,032,134	△ 448,366	81.9%	
1) 特定預金取崩収入	700,000	252,000	△ 448,000	36.0%	
① 減価償却引当特定預金	0	0	0	0.0%	
② 財政調整引当預金	700,000	252,000	△ 448,000	36.0%	
2) 雑収入	1,780,500	1,780,134	△ 366	100.0%	
① 受取利息	500	134	△ 366	26.8%	
② 雑収入	1,780,000	1,780,000	0	100.0%	
当期収入合計	33,318,500	30,106,157	△ 3,212,343	90.4%	(A)
前期繰越収支差額	1,997,894	1,997,894	0	100.0%	
収入合計	35,316,394	32,104,051	△ 3,212,343	90.9%	(B)

《 支 出 の 部 》

(単位：円)

科 目	予算額(1)	決算額(2)	差異(2)-(1)	予算比	備 考
1. 運営事業費	1,590,000	1,007,199	△ 582,801	63.3%	
1) 総会・理事会費	850,000	408,359	△ 441,641	48.0%	
2) 広報費	480,000	412,559	△ 67,441	85.9%	会報誌発行
3) 講演・説明会費	260,000	186,281	△ 73,719	71.6%	
2. 事業費	6,990,000	4,858,187	△ 2,131,813	69.5%	
1) 産学官交流サロン	3,600,000	2,588,914	△ 1,011,086	71.9%	
2) 午さん交流会	1,300,000	1,176,800	△ 123,200	90.5%	
3) 新春懇談会	750,000	593,582	△ 156,418	79.1%	
4) その他の事業	1,340,000	498,891	△ 841,109	37.2%	
3. 調査・研究費	11,750,000	11,245,117	△ 504,883	95.7%	
1) 調査・研究費	8,240,000	8,217,000	△ 23,000	99.7%	研究センター分(会費の1/3)
2) 研究・活動費	3,510,000	3,028,117	△ 481,883	86.3%	
4. 管理費	12,879,000	12,244,758	△ 634,242	95.1%	
1) 給料手当	6,090,000	6,130,913	40,913	100.7%	
2) 福利厚生費	1,160,000	1,015,456	△ 144,544	87.5%	
① 福利厚生費	150,000	10,829	△ 139,171	7.2%	
② 法定福利費	1,010,000	1,004,627	△ 5,373	99.5%	
3) 会議費	10,000	9,000	△ 1,000	90.0%	
4) 旅費交通費	60,000	31,300	△ 28,700	52.2%	
5) 通信運搬費	640,000	528,854	△ 111,146	82.6%	通信機器リース料含む
6) 消耗品費	960,000	703,402	△ 256,598	73.3%	
① 消耗什器備品費	0	0	0	0.0%	
② 消耗品費	960,000	703,402	△ 256,598	73.3%	OA機器リース料含む
7) 修繕費	0	0	0	0.0%	
8) 印刷製本費	90,000	58,300	△ 31,700	64.8%	総会資料・会員名簿等
9) 新聞・図書費	180,000	178,440	△ 1,560	99.1%	
10) 水道光熱費	257,000	264,116	7,116	102.8%	
11) 賃借料	2,958,000	2,956,800	△ 1,200	100.0%	事務所賃借料
12) 交際費	60,000	21,770	△ 38,230	36.3%	
13) 諸会費	354,000	304,000	△ 50,000	85.9%	他団体の年会費等
14) 雑費	60,000	42,407	△ 17,593	70.7%	
5. その他の支出	56,265	656,265	600,000	1166.4%	
1) 固定資産購入支出	0	0	0	0.0%	
2) 特定預金繰入支出	56,265	656,265	600,000	1166.4%	
① 減価償却引当特定預金	56,265	56,265	0	100.0%	
② 財政調整引当預金	0	600,000	600,000	0.0%	
当期支出合計	33,265,265	30,011,526	△ 3,253,739	90.2%	(C)
当期収支差額	53,235	94,631	41,396		(A) - (C)
次期繰越収支差額	2,051,129	2,092,525	41,396		(B) - (C)

貸借対照表
令和4年3月31日 現在

(単位：円)

科 目	金 額	
I. 資産の部		
1. 流動資産		
(1)現金	22,430	
(2)預金	2,645,949	
(3)未収入金	218,805	
(4)前払金	274,300	
(5)立替金	400,000	
流動資産合計		3,561,484
2. 固定資産		
(1)設備什器備品	182,866	
(2)電話加入権	213,000	
(3)敷金	2,688,000	
(4)減価償却引当特定預金	2,639,339	
(5)事務所移転費用積立預金	200,000	
(6)財政調整引当預金	1,698,000	
固定資産合計		7,621,205
資産合計		11,182,689
II. 負債の部		
1. 流動負債		
(1)未払金	520,057	
(2)預り金	700,045	
流動負債合計		1,220,102
負債合計		1,220,102
III. 正味財産の部		
正味財産		9,962,587
(うち当期正味財産増加額)		(442,631)
負債及び正味財産合計		11,182,689

正味財産増減計算書

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月 31日まで

(単位：円)

科 目	金 額	
I. 増加の部		
1. 資産増加額		
当期収支差額	94,631	
減価償却引当特定預金増加額	56,265	
財政調整引当預金増加額	600,000	
資産増加額計		750,896
2. 負債減少額		
負債減少額	0	0
増加額合計		750,896
II. 減少の部		
1. 資産減少額		
什器備品減価償却額	56,265	
財政調整引当預金減少額	252,000	
資産減少額計		308,265
2. 負債増加額		
負債増加額	0	0
減少額合計		308,265
当期正味財産増加額		442,631
前期繰越正味財産額		9,519,956
期末正味財産合計額		9,962,587

監 査 報 告 書

東 三 河 懇 話 会
会長 神野 吾郎 殿

東三河懇話会の、令和3年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）収支決算書、正味財産増減計算書、貸借対照表およびその他の計算書類、関係帳簿を監査した結果、いずれも適法かつ正確であることを認めます。

令和4年5月11日

東三河懇話会

監 事 豊橋信用金庫 副理事長

市 川 智 嗣 印

監 事 (株)三菱UFJ銀行 豊橋支店長

近 藤 崇 印

監 事 中部電力パワーグリッド(株) 豊橋営業所長

牧 眞 司 印

<参 考>

(注)決算期変更のため第23期は18カ月間の実績

三河港未来戦略会議 第23期収支決算書

(自 令和2年10月1日 至 令和4年3月31日)

収入の部 (単位:円)

科目	予算額(a)	決算額(b)	差異(b-a)	対予算比率(b/a)	備考
会費収入	1,290,000	1,290,000	0	100%	
研究交流会収入	0	0	0	0%	
事業収入	100,000	0	-100,000	0%	
雑収入	69	12	-57	17%	
当期収入合計	1,390,069	1,290,012	-100,057	93%	
前期繰越収支差額	537,731	537,731	0	100%	
収入合計	1,927,800	1,827,743	-100,057	95%	

支出の部 (単位:円)

科目	予算額(a)	決算額(b)	差異(b-a)	対予算比率(b/a)	備考
総会費	150,000	50,081	-99,919	33%	
研究交流会費	500,000	361,606	-138,394	72%	
事業費	700,000	623,304	-76,696	89%	
運営費	500,000	500,000	0	100%	
予備費	77,800	0	-77,800	0%	
当期支出合計	1,927,800	1,534,991	-392,809	80%	
次期繰越収支差額	0	292,752	292,752	0%	

議案2. 令和4年度事業計画（案）並びに収支予算（案）の件

令和4年度事業計画（案）

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月 31日

1. 基本方針

新型コロナウイルス感染症はワクチン接種の加速により感染状況が低位安定し、経済も総じて緩やかに回復することが期待されますが、昨年来の半導体不足や原材料価格の高騰に加え、ロシアのウクライナ侵攻による世界的なインフレ率が高まり、当地域における企業活動や消費活動にも少なからず影響が及ぶことが懸念されます。

人口減少や少子高齢化、グローバル化の進展に加え、コロナ禍によって「DX」が加速して人々の暮らし方や働き方が大きく変わるなか、再生可能エネルギーへの移行をはじめとした先進的な取り組みを通じ、経済成長を止めずに脱炭素化社会を実現する「GX」というIT革命に次ぐ世界的な社会変革が起きています。これからの地域づくりは、「DX」と「GX」を推進することにより、時間や空間の制約を克服しながら、地域課題の解決や新たな価値の創造を促し、住民本位の行政や持続的発展が可能な地域社会の実現を目指す取り組みが必要となってきています。また、企業の事業継続や持続的成長には、高度なデジタル技術を取り入れた新たなサービスや新製品の開発に加え、新規事業の立ち上げ、スタートアップ企業との連携などが求められています。

今年度はこうした背景を踏まえ、「東三河産学官交流サロン」をはじめとする産学官民交流事業につきましては、サステナブルで持続性のある地域づくりのあり方や気候変動など地球規模の環境問題などの視点でテーマを設定し、必要に応じてオンラインも併用しながら講演会や視察会等の事業を推進してまいります。また、昨年度からスタートした「産学官の新しいネットワークづくりのためのワーキング」では、東三河地域の課題や将来あるべき姿について意見交換を行う場を新たに設定し、定期的に討論を行ってまいります。併せて、行政サイドとの定期的な情報交換を行うことで、これまで以上に連携・協力体制を高めてまいります。

広域連携事業につきましては、関係機関との良好な関係を保持するとともに、「東三河8市町村長を囲む新春懇談会」、「東三河に係る地域インフラ事業説明会」、「三河港未来戦略会議」における研究交流会、「特別講演会」の開催などを通じて、会員の皆さまに有用な情報を提供してまいります。

会員サービス事業につきましては、ホームページにおけるタイムリーな情報提供に加え、弊会に関する事業計画や会員の皆さまからご提供いただいた情報を集約した「メールマガジン」を毎月発行する取り組みをスタートいたします。その他、会員の皆さまへのアンケートやヒアリングによる弊会の事業活動に対するニーズの把握、(公社)東三河地域研究センターとの情報共有化、並びにデータベース化の推進に努めてまいります。

コロナ禍の収束がまだまだ見通せない状況ですが、今後も会員の皆さまとの結束力を一層高めながら、界を超えた地域のつながりを進めるネットワークセンターの役割を果たし、「東三河はひとつ」を合言葉に、未来に向けた地域づくりを鋭意進めていく所存です。

2. 事業計画

(1) 産学官民交流事業

①東三河産学官交流サロン（12回／年）

産学官民の交流連携、情報交換の場をオンラインを併用して提供。半期ごとにテーマを設け、東三河の産学官民の講師や外部講師を招聘し、会員にとって「知」の場となるタイムリーな情報を発信する。また、パネルディスカッションなどの新しい企画、質疑応答やアンケートの実施など双方向のコミュニケーションの促進を図る。

②東三河午さん交流会（10回／年）

地域に密着したさまざまな話題をピックアップ。主に、東三河において社会活動や文化芸術活動を実践し、地域づくりに貢献されている方々を紹介し、会員への情報発信を行う。

③東三河グローアップミーティング（4回／年）

本会会員の次世代を担う人材の育成に主眼を置き、当地域に関連するさまざまな課題等をテーマとした講演会、勉強会等を通じて学び、成長したいと考えている方々が集い、交流する新たな場の創出を目的として開催する。

④産学官による新しいネットワークづくりのためのワーキング（10回／年）

産学官の若手メンバーを中心に、東三河地域で顕在化している課題や、潜在的であるが将来発生すると思われる課題、地域全体の将来あるべき姿など意見交換を行う場を新たに設定、勉強会や討論を実施し、課題意識と将来の方向性の共有を目的としたワーキングを開催する。

⑤視察会

コロナ禍の影響を勘案しつつ、経済社会環境の変化や、東三河において話題となっている地域テーマを選定し、東三河地域の持続的な発展や、広域的な連携の参考となる場所、施設等の視察会開催を検討・実施する。

(2) 広域連携事業

①東三河8市町村長を囲む新春懇談会

新春恒例の事業。東三河地域における共通の課題・テーマに関する東三河8市町村長参加のパネルディスカッションにより、東三河のこれからの姿を展望するとともに、会員をはじめ地域住民に広く情報発信する。

②三河港未来戦略会議

三河港振興会等と連携をとりながら研究活動を計画。三河港を中心として、広域幹線道路などの広域インフラ整備、DX化等による効率化や経済活動などに関わる事業活動について、未来を見据えながら調査研究を進めるとともに、研究テーマに関わる研究交流会・視察会の開催、ニューズレターの発行、会員企業と連携したプロジェクトの検討、提案などを行う。

③東三河生態系ネットワーク協議会

東三河生態系ネットワーク協議会の事務局として、SDGs（持続可能な開発目標）の目標である「14.海の豊かさを守ろう」「15.陸の豊かさも守ろう」を中心に活動を展開し、自然とのふれあい体験事業や生態系フォーラムを開催するとともに、協議会加入団体の活動への支援・協力、並びに企業や団体の協議会への参加呼び掛けを実施する。

④地域インフラ事業の説明会

「三河港関連事業整備計画等説明会」、「東三河地区幹線道路整備計画に関する説明会」等を主催し、東三河地域で進むインフラ等の計画・進捗状況について、関係機関と連携しながら会員等に情報発信する。

⑤各種団体との連携・協力

中部経済同友会、浜松経済同友会、三河港振興会等との連携・協力により、講演会の企画など会員交流や産学官民連携に向けた取り組みを推進する。

(3) 会員サービス事業

①広報活動の一層の推進

会報誌「MIKAWA—NAV I」（季刊）を本会ホームページに掲載する。
本会主催の各種催事の開催案内などを、本会ホームページでタイムリーに情報発信する。
(URL <https://www.konwakai.jp/>)

②会員（地域）情報の収集とメールマガジンによる発信

弊社に関する事業計画や会員の皆さまからご提供いただいた情報を集約した「メールマガジン」を毎月発行する取り組みをスタートする。

③会員意見の収集と運営への活用

会員へのアンケートや定期訪問等によるヒアリング調査を実施することで、地域づくりや当会の活動等に関するニーズを把握し、事業運営に活用する。

④会員サービスの質的向上

(公社)東三河地域研究センターとの情報共有と連携強化を図り、同センターが保有するシンクタンク機能を活用し、会員にとって有益な産学官民交流および広域連携事業の充実を図る。また、本会ホームページに会員からの有用な情報を無償で掲載する。

⑤「東三河地域問題セミナー」の支援

東三河の現状と将来を考え、地域をリードする人材育成のための基礎的、専門的な知識を得る場として、(公社)東三河地域研究センターが主催する当該セミナーを会員内外に広く周知し、動員を図る。

(4) 会員増強

東三河の産学官交流の場としてのコミュニケーションセンター機能を充実させ、会員相互の交流による地域連携の有益性を訴求し、広く地域の方々に提議する。併せて、商工会議所、商工会の会員企業等で、当会に未加入の企業に対する勧誘活動を推進するなど、会員の増強を図る。

令和4年度
収支予算(案)
(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

《 収入の部 》

(単位：円)

科 目	令和4年度	令和3年度	令和3年度	前年	備 考
	予算額	決算額	予算額	予算比	
1. 会費収入	24,900,000	24,651,000	24,720,000	100.7%	
1) 法人会費	22,320,000	22,200,000	22,260,000	100.3%	
2) 個人会費	240,000	150,000	120,000	200.0%	
3) 特別会費	2,340,000	2,301,000	2,340,000	100.0%	
2. 事業収入	5,273,000	3,423,023	6,118,000	86.2%	
1) 産学官交流サロン	3,080,000	1,830,869	3,520,000	87.5%	
2) 午さん交流会	1,113,000	1,042,154	1,108,000	100.5%	
3) 新春懇談会	630,000	253,000	750,000	84.0%	
4) その他の事業	450,000	297,000	740,000	60.8%	
3. その他の収入	2,380,200	2,032,134	2,480,500	96.0%	
1) 特定預金取崩収入	600,000	252,000	700,000	85.7%	
①減価償却引当特定預金	0	0	0	0.0%	
②財政調整引当預金	600,000	252,000	700,000	85.7%	
2) 雑収入	1,780,200	1,780,134	1,780,500	100.0%	
①受取利息	200	134	500	40.0%	
②雑収入	1,780,000	1,780,000	1,780,000	100.0%	
当期収入合計	32,553,200	30,106,157	33,318,500	97.7%	(A)
前期繰越収支差額	2,092,525	1,997,894	1,997,894	104.7%	
収入合計	34,645,725	32,104,051	35,316,394	98.1%	(B)

《 支 出 の 部 》

(単位：円)

科 目	令和4年度	令和3年度	令和3年度	前年	備 考
	予算額	決算額	予算額	予算比	
1. 運営事業費	1,650,000	1,007,199	1,590,000	103.8%	
1) 総会・理事会費	850,000	408,359	850,000	100.0%	
2) 広報費	540,000	412,559	480,000	112.5%	
3) 講演・説明会費	260,000	186,281	260,000	100.0%	
2. 事業費	6,700,000	4,858,187	6,990,000	95.9%	
1) 産学官交流サロン	3,360,000	2,588,914	3,600,000	93.3%	
2) 午さん交流会	1,300,000	1,176,800	1,300,000	100.0%	
3) 新春懇談会	950,000	593,582	750,000	126.7%	
4) その他の事業	1,090,000	498,891	1,340,000	81.3%	
3. 調査・研究費	11,420,000	11,245,117	11,750,000	97.2%	
1) 調査・研究費	8,300,000	8,217,000	8,240,000	100.7%	研究センター分(会費の1/3)
2) 研究・活動費	3,120,000	3,028,117	3,510,000	88.9%	
4. 管理費	12,668,000	12,244,758	12,879,000	98.4%	
1) 給料手当	6,200,000	6,130,913	6,090,000	101.8%	
2) 福利厚生費	1,130,000	1,015,456	1,160,000	97.4%	
① 福利厚生費	110,000	10,829	150,000	73.3%	
② 法定福利費	1,020,000	1,004,627	1,010,000	101.0%	
3) 会議費	10,000	9,000	10,000	100.0%	
4) 旅費交通費	48,000	31,300	60,000	80.0%	
5) 通信運搬費	600,000	528,854	640,000	93.8%	
6) 消耗品費	760,000	703,402	960,000	79.2%	
① 消耗什器備品費	0	0	0	0.0%	
② 消耗品費	760,000	703,402	960,000	79.2%	
7) 修繕費	0	0	0	0.0%	
8) 印刷製本費	60,000	58,300	90,000	66.7%	
9) 新聞・図書費	180,000	178,440	180,000	100.0%	
10) 水道光熱費	272,000	264,116	257,000	105.8%	
11) 賃借料	2,958,000	2,956,800	2,958,000	100.0%	
12) 交際費	36,000	21,770	60,000	60.0%	
13) 諸会費	354,000	304,000	354,000	100.0%	
14) 雑費	60,000	42,407	60,000	100.0%	
5. その他の支出	56,265	656,265	56,265	100.0%	
1) 固定資産購入支出	0	0	0	0.0%	
2) 特定預金繰入支出	56,265	656,265	56,265	100.0%	
① 減価償却引当特定預金	56,265	56,265	56,265	100.0%	
② 財政調整引当預金	0	600,000	0	0.0%	
当期支出合計	32,494,265	30,011,526	33,265,265	97.7%	(C)
当期収支差額	58,935	94,631	53,235		(A) - (C)
次期繰越収支差額	2,151,460	2,092,525	2,051,129		(B) - (C)

<参 考>

三河港未来戦略会議 第24期収支予算（案）

（自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日）

収入の部

（単位：円）

科目	第24期予算	第23期予算	第23期決算	備考
会費収入	1,290,000	1,290,000	1,290,000	
研究交流会収入	0	0	0	
事業収入	90,000	100,000	0	
雑収入	20	69	12	
当期収入合計	1,380,020	1,390,069	1,290,012	
前期繰越収支差額	292,752	537,731	537,731	
収入合計	1,672,772	1,927,800	1,827,743	

支出の部

（単位：円）

科目	第24期予算	第23期予算	第23期決算	備考
総会費	70,000	150,000	50,081	
研究交流会費	380,000	500,000	361,606	
事業費	430,000	700,000	623,304	
運営費	500,000	500,000	500,000	
予備費	292,772	77,800	0	
当期支出合計	1,672,772	1,927,800	1,534,991	
次期繰越収支差額	0	0	292,752	

議 案 3. 役員改選の件

役 職	退 任	就 任
常任理事	(株)総合開発機構 代表取締役社長 小林 宏之	(株)総合開発機構 代表取締役社長 前田 英範
同	総合ポートサービス(株)代表取締役社長 柴田 忠男	総合ポートサービス(株)代表取締役社長 豊田 正博
同	トヨタ自動車(株) 田原工場長 伊村 隆博	トヨタ自動車(株) 田原工場長 岡山 真澄
同	名古屋鉄道(株) 取締役常務執行役員不動産事業本部長 日比野 博	
同	西日本電信電話(株) 東海事業本部 ビジネス営業部 東三河営業支店長 北村 光春	西日本電信電話(株) 東海支店 ビジネス営業部 東三河営業支店長 宮本 順子
理事	(株)静岡銀行 豊橋支店長 藤森 学	(株)静岡銀行 豊橋支店長 山本 重雄
同	(株)総合開発機構 専務取締役 伊藤 信一	(株)総合開発機構 代表取締役副社長 鈴木 康史
同	トピー海運(株) 代表取締役社長 竹田 秀和	トピー海運(株) 代表取締役社長 志村 誠
同	名古屋鉄道(株) 代表取締役社長 安藤 隆司	
同	日本通運(株) 豊橋支店長 守田 英司	日本通運(株) 豊橋支店長 小島 英史
監事	(株)三菱UFJ銀行 豊橋支店長 郷 武	(株)三菱UFJ銀行 豊橋支店長 近藤 崇

令和4年度 東三河懇話会役員名簿（案）

※太字は変更部分を示す

会 長	(株)サーラコーポレーション 代表取締役社長兼グループ代表・CEO	神野吾郎
副会長	(株)トヨタテック 代表取締役社長	小野喜明
同	小池商事(株) 代表取締役社長	小池高弘
同	イノチオホールディングス(株) 代表取締役社長	石黒 功
同	ヤマサちくわ(株) 代表取締役社長	佐藤元英
同	(株)田村組 代表取締役社長	田村太一
専任理事	東三河懇話会	福田裕之
常任理事	(株)アイゼロ 取締役会長	牧野 涉
同	オーエスジー(株) 代表取締役会長兼CEO	石川則男
同	(株)オノコム 代表取締役会長	小野喬四朗
同	蒲郡信用金庫 理事長	竹田知史
同	壽鑛業(株) 取締役会長	河合利則
同	サーラエナジー(株) 代表取締役社長	鳥居 裕
同	新東工業(株) 常務取締役	久野恒靖
同	鈴与(株) 豊橋支店長	永田智大
同	(株)総合開発機構 代表取締役社長	前田英範
同	総合ポートサービス(株) 代表取締役社長	豊田正博
同	(株)大三コーポレーション 代表取締役	松井孝悦
同	中部電力パワーグリッド(株) 岡崎支社長	桑原靖和
同	(株)デンソー 豊橋製作所長	阿部守一
同	トピー工業(株) 豊橋製造所長	野秋明弘
同	豊川信用金庫 理事長	真田光彦
同	トヨタ自動車(株) 田原工場長	岡山真澄
同	豊橋鉄道(株) 代表取締役社長	小笠原敏彦
同	豊橋三菱ふそう自動車販売(株) 代表取締役会長	鈴木伊能勢
同	西島(株) 代表取締役社長	西島 豊
同	西日本電信電話(株) 東海支店ビジネス営業部東三河営業支店長	宮本順子
同	日東電工(株) 豊橋事業所長	井田 太
同	フォルクスワーゲングループジャパン(株) 監査役	菊地啓一
同	丸利建設(株) 代表取締役	権田知宏
同	三菱ケミカル(株) 経営執行職愛知事業所長	笠坊行生
理 事	アオキトランス(株) 取締役社長	小島泰樹
同	岡崎信用金庫 理事長	田中秀明
同	鹿島建設(株) 専務執行役員中部支店長	片山 豊

同	川北電気工業(株) 代表取締役社長	大津正己
同	(株)サーラホテル&レストランズ 取締役支配人	梅岡浩昭
同	(株)静岡銀行 豊橋支店長	山本重雄
同	(株)清水銀行 代表取締役頭取	岩山靖宏
同	鈴与(株) 取締役会長	鈴木與平
同	(株)総合開発機構 代表取締役副社長	鈴木康史
同	総合埠頭(株) 代表取締役社長	廣瀨全洋
同	大成建設(株) 常務執行役員名古屋支店長	鈴木淳司
同	(株)中日新聞社 代表取締役社長	大島宇一郎
同	(株)中部 代表取締役社長	榎林孝尚
同	東海CS(株) 代表取締役社長	田中 猛
同	(株)トーエネック 豊橋営業所長	岡本正二
同	トピー海運(株) 代表取締役社長	志村 誠
同	(株)名古屋銀行 取締役頭取	藤原一郎
同	日本通運(株) 豊橋支店長	小島英史
同	本多プラス(株) 会長	本多克弘
同	(株)三井住友銀行 豊橋支店長	栗林 徹
同	三井住友信託銀行(株) 豊橋支店長	小國昌彦
同	ユタカコーポレーション(株) 取締役会長	磯村博宣
監 事	豊橋信用金庫 副理事長	市川智嗣
同	(株)三菱UFJ銀行 豊橋支店長	近藤 崇
同	中部電力パワーグリッド(株) 豊橋営業所長	牧 眞司

(敬称略)

<メモ欄>

東三河懇話会

〒440-0888 豊橋市駅前大通3-53 太陽生命豊橋ビル2階

TEL (0532)55-5141 FAX (0532)56-0981

E-mail info@konwakai.jp

URL <https://www.konwakai.jp/>